

第 18 期福井糖尿病療養指導担当者教育講習会 4 月講義施行ミニテスト

解答は解答用紙に記入してください。

以下の各文について、正しい文には○印、間違いのある文には×印を付けなさい。

- 1 ショ糖は二糖類であり、小腸の内腔において、小腸粘膜細胞の刷子縁膜に局在する α -グルコシダーゼ、ラクターゼによって単糖類に分解されて吸収される。
- 2 インクレチンは、食事を摂取したときだけ小腸粘膜細胞から分泌され、膵の β 細胞にはたらいて、まだ血糖が低いうちからのすばやいインスリン分泌を促し、血糖が高くなってくると速やかに働かなくなる。
- 3 プロインスリンがインスリンとなる(プロセッシングされる)ときに、元分子から外れた側のペプチドを、C ペプチドといい、インスリンと同じ分子数だけ生成される。
- 4 我が国において、「血糖値」とは「100ml(1dl)あたりに含まれるブドウ糖の(重量)」を意味する。
- 5 正常の代謝では血糖値が上昇しようとする時には、膵 β 細胞からのインスリン分泌は増加する。
- 6 妊娠において、母体の体重はより低いほどインスリン抵抗性の出現や、ひいては妊娠糖尿病の発症も予防できずので、低いほうがよい。
- 7 糖尿病の診断において、OGTT 負荷 2 時間値が根拠となることより空腹時(負荷前)血糖が根拠となることのほうが多い。
- 8 1型糖尿病は、以前は若年型糖尿病と言われていたが、全年齢層に発症することが知られている。その発症率は世界的にみれば低いほうに位置する
- 9 肝硬変による糖尿病では、空腹時血糖は正常で、糖負荷試験では負荷して 1～2 時間値が高くなり、3 時間以降で下がることが多い。